川縣自十月十三日至仝廿日　九十九人
目十月廿五日至仝十六日　三十四人
分縣

兵庫長崎新潟埼玉茨城群馬長野宮城青森山形秋田鳥取福岡熊本鹿兒島根室ノ諸人ニ過キズ

至ル一週間五十四人福岡鹿兒島山口ノ四縣ニシテ愛媛縣ハ九月二十四日ヨリ仝月十七日ヨリ山口縣ハ九月十七日ヨリ二人ナリ

口ノ三縣ニシテ愛媛縣ハ

ル一週間六十八人熊本縣ハ一週間四十四人山口縣ハ三週間百三十八人ナリ

内務省衛生局

北會津郡若松大町一ノ町
男無職業　岡部算三郎
治十五年一月十八年八月
木町平民　星野千代吉
行元屬人
治十五年一月十七年六月

裁判所ガ右算三郎千代吉
百六十六條同第三百六十
一條ヲ適用シ仍ホ所犯刑
舊法賊盜律窃盗條ニ比照
第八十一号布告ニヨリ重
前自首スルヲ以テ刑法第
一條同第三條及ヒ舊法雇
條ニ依リ其罪ヲ免スト裁
其裁判ヲ不法トシ上告セ
引ハ有之タルモ其銀行ノ
者タリシコハ同人ノ自由
カ千代吉ヲ教唆セシコア
ニ從犯ト云フテ得ス刑法
第八十五條仝第八十六條
條ニ照シ處斷シ算三郎ハ
刑法第三百六十六條同第百
第八十一條及ヒ同第八十九
ノ處分ニ及フヘキニ原裁
齟齬且擬律ノ錯誤ナリト

郎ハ撿察官ノ上告ノ趣
ハ原裁判至當ナリト答辨
祭官ノ上告ノ趣意タル事實
モ然ラサルナリ就テ右理
セリ原裁判言渡ニ算三郎ノ
ム々ト千代吉ヘノ言渡中ニ
千代吉ト共ニ謀リ窃取リ
ル理由ノ明示ナク外調書ニ
戒ヲ行ヒタリト見ルヘキ證
ニ突然刑法第三百六十九
ト官渡タルハ舊法
セス共ニ事實ノ理由ヲ缺
カ他罪ハ明治十

ノニアラスト考量ス旁以テ原裁判ヲ破棄シ他ノ相當ノ裁判スル如左

判所ニ移サレンコヲ望ムト陳辨セリ因テ裁判ス

原裁判言渡ヲ閲スルニ算三郎千代吉共ニ相謀リ金圓ヲ窃取シタリトノ況情ハ見ルニ足ルヘキモ共ニ窃取ヲ行ヒタリトノ況情ハ見ニ由シナシ是事實理由ノ明示ヲ缺キタルノミナラズ千代吉ハ算三郎ノ發意ニ從ヒ云々トアツテ舊法共犯分首從律ニ依リ從犯ト論スヘキ事實理由ハ略ホ相備リタルモ新法上之レヲ從犯ト論スヘキナレハ其從犯タルノ理由ヲ明示セスンハアルヘカラサルニ之カ明示ヲ缺キタルハ本院撿察官論辨ノ如ク治罪法第三百四條裁判所ニ於テ刑ノ言渡ヲ爲スコハ事實及ヒ法律ニ依リ其理由ヲ明示シ云々トアル法文ニ背反シタル裁判ナリトス

又刑法第八十九條ヲ適用スルト否ラサルトハ事實上ニ因原スベキコトニテ事實裁判所ノ權内ナレハ酌量減輕ヲ用ヒサルモ法律違犯ト云フノ限リニアラサルナリ又附帶上告ニ係ル明治十四年中ノ犯罪ナルモ其自首タル理嚆矢ニアレハ舊法名例律犯罪自首條ヲ適用スベキモノニアラサルニ似タリト雖ヒ其罪ハ刑法第三條第二項ニ依リ新舊法ヲ比照シタル者ナレハ特ニ自首宥恕ノミ新法ニ依ル可キ謂レナケレハ本罪ト共ニ舊法ニ依リ論決スルハ敢テ不當ト云ヲ得ズ然リ而シテ前ニ辨明スル如ク到底原裁判ハ事實ノ理由ヲ缺キ破毀ノ原由アル不法ノ裁判ナリトス右ノ理由ニ原キ治罪法第四百十條第九項同第四百廿八條ニ依リ岡部算三郎星野千代吉ニ言渡シタル裁判ヲ破毀シ適用ノ裁判ヲ受ケシメン爲メ米澤輕罪裁判所ニ移ス者也

大審院ニ於テ撿事林三介立會宣告ス

明治十五年九月十九日

裁判長判事　中島錫胤
專任判事　鳥居義臣
判事　關三秀助
仝　山根千里
仝　昌谷彦助
書記　澤野潛藏

時事新報

俗宗旨俗僧侶

時事新報記者足下我輩ハ日本僧侶ノ爲ニ一言セント欲スルヿ久シカリキ而シテ日本僧侶中ニハ目下眞宗ヲ以テ最モ有力ナルモノト爲スガ故ニ眞宗ノ僧侶ヲ論ズルハ日本全國ノ僧侶ヲ論スルモノト等シカルベシ幸ニシテ（眞宗ノ爲ニハ不幸ニシテ）近日東本願寺ノ騒動ノ爲メ世人或ハ耳ヲ僧侶論ニ傾ルノ狀勢アルヲ以テ之ヲ好機トシテ今爰ニ一言セント欲スルナリ

眞宗ハ俗宗旨ニシテ其僧侶ハ俗僧侶ナリ宗旨ノ俗ナルハ俗世界ニ交ハリテ無識ノ凡俗輩ヲ誘導スルノ便アルヲ以テ却テ其妙處ナリト稱スベシト雖ヒ僧侶ノ俗ナルニ至テハ有害無益一モ取ル所ナキナリ僧侶ノ身ニテ花柳ノ道ニ明カナリトテ爲ニ法燈ノ光ヲ增スベキニ非ズ當日當路ノ政治家ニ媚ヲ献ヲタリトテ爲メニ弘法ノ力ヲ大ニスベキニ非ズ唯其結果ハ身先ツ凡腦ノ餓鬼ト成リ漸クニシテハ開祖親鸞以來六百年ノ運命ヲ枯槁セシメ宗旨ヲ犠牲ニシテ一身ノ俗情ヲ慰ルニ過キサルベシ斯ノ如クナルモ猶ホ眞宗僧侶ハ以テ其応ニ安シトナスヤ

眞宗僧侶ノ口癖ニ曰ク近來外敵漸ク内地ニ蔓延シ遂ニ教ヲ可フヤルニ至ルノ勢アリ實ニ一國ノ大事佛教存滅ノ秋ナリ此際ニ當テ粉骨碎身大ニ眞宗ノ隆盛ニ力ヲ盡スハ我輩僧侶ガ國ニ報ヒ祖先ニ奉ズルノ義務ナリト然ルニ其實際ノ所業ヲ顧レハ彼等ガ口癖トスル所ノ國ヲ憂ヒ宗旨ヲ愛スルノ實ハ其痕跡ダモアルヿナク傲遊以テ其俗情ヲ慰メ時ニ或ハ八万地獄ヘ墜落的ノ罪業ニ從事シテ六條ノ本山ヲ修羅ノ街ト變スル者比々皆然リ彼等何程ニ俗ナリト雖ヒ其身ヲ亡ボシ其宗旨ヲ亡ボシテ我ガ念願滿圖セリト云フ者ニハ非ザルベシ唯彼等ノ心中ニ眞宗ハ今仍ホ強大隆盛ナリ外敵ノ侵入モ恐ルヽニ足ラズ世ノ人言モ憚ルニ足ラズト大ニ自カラ特ム所アルニ由ルナルベシ然ルニ彼等ガ眞宗ヲ強大ナリト謂フハ何ニ根據シテ然ルヤト問フニ一ハ近年本山參詣ノ同行多ク隨テ又喜捨ノ布施物ノ多額ナルト一ハ當路ノ貴顯等上流ノ士人中ニ間マ眞宗歸依ノ徒アルトヲ以テ之ヲ證スベシト云フガ如シ然レヒ此引證タルヤ大ニ其關係ヲ誤リ事跡ノ原因ヲ求メズ遠ニ以テ他ノ無縁ノ事柄ヲ證セントスルニ過ギザルモノナリ第一近年ニ至リ本山參詣ノ同行多ク隨テ又喜捨ノ金員モ多額ナルハ何ニ由テ然ルヤト云フニ是皆道路改良瀛船車運用等ノ爲メ往來交通ノ便利昔日ニ倍蓰シタルト地租改正貿易廣通等ノ爲メ農民ノ實力遽ニ昔日ノ幾倍ニ增加シタルガ故ニ彼ノ六條本山ヲ以テ極樂ノ支店ト心得タル翁媼等ハ今ヲ時トシテ後生ヲ願ヒ參詣人モ多ク布施物モ多ク事理ノ推求ニ不慣レナル人ハ明治ノ昭代ト共ニ眞宗モ亦中興ノ氣運ニ向ヒタルカト疑フニ至リタルナリ第二貴顯等ノ中ニ眞宗歸依ノ人ヲ現出シタリト云フハ眞宗ノ教義能ク知識上流ノ人ヲ感セシムルニ足リタルガ故ニ非ズ畢竟スルニ彼ノ政治家ノ如キハ一時ヲ前ノ方便ニ供スルガ爲メニ尋常士人ノ爲ルニ忍ビザルヿヲモ忍ブ者多ク誠實ニ中心ノ信向ヨリ起ルベキ宗教ノ歸依不歸依ノ如キモ之ヲ視ルヿ茶粥ト一般之ヲ啜ルモ之ヲ吐クモ時ノ腹加減次第ニテ深キ趣意ノアルニ非ズ偶々之レアルモノハ最モ卑俗ナル一時ノ小趣意タルニ過ギザルベク何ゾ政治家ノ歸否ヲ以テ眞宗ノ運命ヲトスルヿヲ得ンヤ蓋シ近年同行ノ多ク布施ノ豐カナルハ一時ノ狂花ノ如シ永ク依頼ス可ラズ政治家ノ歸依ハ水中ノ花影ノ如シ以テ宗旨ヲ裝フニ足ラズ然ルニ今此花ト此影トヲ見テ滿城ノ春風法運万歳ナリト祝スルハ愚モ亦甚ダシト云ザルヲ得ズ

記者足下ハ眞宗ガ法ヲ世變スルノ仕組文明世界ニ不適當ナルノ故ヲ以テ其運命久シカラズト云ハレタリ我輩ハ今眞宗僧侶ノ俗行多キヲ見テ又其運命ノ久シカラザルヿヲ知レリ我輩ハ唯他年生涯中ノ一日ニ京都ノ六條ヲ見物シ我輩ガ當時嫌倉ノ建長寺ヲ過ギタ催スモノト同一ノ感ヲ生ズルノ不幸ナキヲ希望スルノミ

明治十五年十月二十一日

快事　藤谷生稿

時事新報編輯長足下